

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	北陸財務局長
【提出日】	平成24年7月25日
【四半期会計期間】	第43期第1四半期（自平成24年3月21日 至平成24年6月20日）
【会社名】	株式会社ハチバン
【英訳名】	HACHI-BAN CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 後藤 四郎
【本店の所在の場所】	石川県金沢市新神田一丁目12番18号
【電話番号】	076-292-0888（代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員管理部経理部長 高瀬 了
【最寄りの連絡場所】	石川県金沢市新神田一丁目12番18号
【電話番号】	076-292-1438（直通）
【事務連絡者氏名】	執行役員管理部経理部長 高瀬 了
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第42期 第1四半期連結 累計期間	第43期 第1四半期連結 累計期間	第42期
会計期間	自平成23年 3月21日 至平成23年 6月20日	自平成24年 3月21日 至平成24年 6月20日	自平成23年 3月21日 至平成24年 3月20日
売上高(千円)	1,461,337	1,472,443	5,938,945
経常利益(千円)	121,205	100,611	333,566
四半期(当期)純利益(千円)	58,278	45,417	143,619
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	49,647	23,390	138,001
純資産額(千円)	2,801,722	2,616,743	2,858,729
総資産額(千円)	4,307,204	4,137,530	4,261,299
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	3.79	3.02	9.35
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	65.05	63.24	67.09

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 第42期第1四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について重要な変更はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による厳しい状況から改善する動きは見られたものの、欧州金融危機や歴史的な円高、株価の低迷など、依然として不透明な状況が続いております。

外食産業におきましても、節約志向や低価格化の販売競争など、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと当社グループは、「食の安心・安全」の維持向上とお客さまの信頼を最優先に、事業活動を展開しております。そしてお客様に新しい価値を提供することを重要課題として取り組み、店舗改装による店舗イメージの刷新、より高品質・より健康志向の商品を開発して提供することに注力しております。

当第1四半期連結会計期間末の当社グループの店舗展開の状況につきましては、中華人民共和国遼寧省大連市での3号店目を含む加盟店2店舗（内海外2店舗）を新規開店し、店舗数は256店舗（前期末比2店舗増、内海外2店舗増）となっております。その内訳は、らーめん店舗143店舗、和食店舗11店舗、海外店舗102店舗であります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は14億72百万円（前年同期比0.8%増）となり、営業収益（売上高とロイヤリティ収入等の合計）は15億97百万円（前年同期比0.9%増）となりました。営業利益は61百万円（前年同期比3.1%増）、経常利益は受取配当金が減少したことにより1億円（前年同期比17.0%減）、四半期純利益は45百万円（前年同期比22.1%減）となりました。

報告セグメント別の状況につきましては次のとおりであります。

外食事業

8番らーめんフランチャイズチェーンの展開を主とするらーめん部門においては、立地変化に対応したスクラップアンドビルドや店舗改装による店舗イメージの刷新、より高品質・より健康志向の商品の提供、接客サービスの維持向上に取り組み、来店客数の増加に努めております。主力業態である8番らーめんチェーンにおいては、加盟店1店舗の移転ならびに加盟店2店舗の改装を実施するほか、「スープの無いらーめん」という特徴ある商品「辛・唐麺」の認知を高めるため、販売キャンペーンを実施し、来店客数の増加に努めました。当第1四半期連結会計期間末の店舗数は143店舗（内加盟店舗数122店舗、直営店舗数21店舗、前期末比同数）であります。

また、主として八兆屋、長八、野ふうど等の和食料理店を直営店方式により展開する和食部門においては、個店ごとの店舗特徴や立地特性をよりアピールするほか、季節の変化に応じた健康志向メニューの提供に取り組み、来店客数の増加に努めております。当第1四半期連結会計期間末の店舗数は11店舗であります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の営業収益（売上高とロイヤリティ収入等の合計）は13億75百万円（前年同期比0.1%減）、経常利益は1億87百万円（前年同期比4.0%減）となりました。

外販事業

当社製品を主要販売品目とする外販事業は、生麺ブランド「八番麺工房」、生冷凍餃子を国内各地の生活協同組合様、量販店様を中心に販売の拡大に努めております。この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、販売競争が激化する中で1億76百万円（前年同期比0.5%減）、経常利益は1百万円（前年同期比83.8%減）となりました。

海外事業

8番らーめんフランチャイズチェーンエリアライセンス契約による海外店舗展開ならびに主としてラーメンスープ・エキス等の食材の輸入と販売を行う海外事業においては、既存出店地域での「8番らーめん」ブランドの確立、新規出店、スクラップアンドビルドに取り組むほか、高品質なラーメンスープ・エキスの開発と生産体制の充実増強に努めております。当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、中華人民共和国遼寧省大連市での3号店目を含む加盟店2店舗を新規開店したことにより102店舗（内タイ国94店舗、香港5店舗、中華人民共和国遼寧省3店舗）となりました。この結果、当第1四半期連結累計期間の営業収益（売上高とロイヤリティ収入等の合計）は、タイ国で8番らーめんチェーン店を展開する合弁会社へセントラルキッチン用

設備機器の売上計上があったこと、同社からのロイヤリティ収入の増加があったことにより46百万円（前年同期比56.7%増）、経常利益は24百万円（前年同期比61.9%増）となりました。

(2) 財政状態の分析

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末に比べ1億23百万円減少して41億37百万円（前連結会計年度比2.9%減）となりました。これは主に売掛金48百万円や長期貸付金55百万円が増加したものの、現金及び預金2億48百万円が減少したことによるものであります。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べ1億18百万円増加して15億20百万円（前連結会計年度比8.4%増）となりました。これは主に短期借入金78百万円と賞与引当金45百万円が増加したことによるものであります。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ2億41百万円減少して26億16百万円（前連結会計年度比8.5%減）となりました。これは主に自己株式2億34百万円を取得したことによって減少したことによるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	68,000,000
計	68,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年6月20日)	提出日現在発行数(株) (平成24年7月25日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	16,040,558	16,040,558	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 1,000株
計	16,040,558	16,040,558	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額 (千円)	資本準備金残 高(千円)
平成24年3月21日 ～平成24年6月20日	-	16,040,558	-	1,518,454	-	379,685

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年3月20日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年3月20日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 691,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 15,178,000	15,178	-
単元未満株式	普通株式 171,558	-	-
発行済株式総数	16,040,558	-	-
総株主の議決権	-	15,178	-

【自己株式等】

平成24年3月20日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社ハチバン	石川県金沢市新神田 1 - 12 - 18	691,000	-	691,000	4.31

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成24年3月21日から平成24年6月20日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年3月21日から平成24年6月20日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	486,052	237,077
売掛金	351,652	400,289
商品及び製品	63,205	83,777
原材料及び貯蔵品	21,053	27,760
繰延税金資産	66,808	75,965
その他	98,310	132,439
流動資産合計	1,087,082	957,310
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	718,498	703,946
機械装置及び運搬具(純額)	92,044	91,813
工具、器具及び備品(純額)	65,107	58,175
土地	1,079,594	1,079,594
有形固定資産合計	1,955,245	1,933,530
無形固定資産	26,182	22,319
投資その他の資産		
投資有価証券	308,104	286,076
長期貸付金	81,360	136,865
関係会社出資金	73,047	73,047
差入保証金	339,062	338,364
保険積立金	248,537	249,518
繰延税金資産	95,003	92,744
その他	71,300	70,943
貸倒引当金	23,626	23,190
投資その他の資産合計	1,192,788	1,224,370
固定資産合計	3,174,216	3,180,220
資産合計	4,261,299	4,137,530

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月20日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	202,927	222,803
短期借入金	121,761	199,992
未払法人税等	76,220	66,579
賞与引当金	88,427	133,887
未払費用	246,644	252,974
その他	74,490	67,838
流動負債合計	810,470	944,075
固定負債		
長期借入金	131,690	116,692
長期未払金	255,957	255,957
長期預り保証金	204,451	204,061
固定負債合計	592,098	576,710
負債合計	1,402,569	1,520,786
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,518,454	1,518,454
資本剰余金	1,151,650	1,151,650
利益剰余金	429,608	444,328
自己株式	226,772	461,450
株主資本合計	2,872,941	2,652,983
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,212	36,239
その他の包括利益累計額合計	14,212	36,239
純資産合計	2,858,729	2,616,743
負債純資産合計	4,261,299	4,137,530

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年3月21日 至平成23年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月21日 至平成24年6月20日)
売上高	1,461,337	1,472,443
売上原価	739,179	729,313
売上総利益	722,158	743,129
営業収入	121,923	125,372
営業総利益	844,081	868,501
販売費及び一般管理費		
運賃	66,979	67,962
役員報酬	24,040	24,942
給料及び手当	290,672	301,257
賞与引当金繰入額	39,278	39,438
退職給付費用	4,702	4,662
地代家賃	63,145	64,511
水道光熱費	40,223	44,395
減価償却費	23,567	21,085
その他	232,189	239,148
販売費及び一般管理費合計	784,798	807,403
営業利益	59,283	61,098
営業外収益		
受取利息	2,149	2,589
受取配当金	49,175	26,883
受取地代家賃	17,154	16,749
受取保険料	1,636	101
受取手数料	6,171	7,023
設備賃貸料	4,028	3,909
その他	2,964	3,340
営業外収益合計	83,280	60,597
営業外費用		
支払利息	1,476	831
賃貸費用	16,153	15,818
その他	3,728	4,435
営業外費用合計	21,358	21,084
経常利益	121,205	100,611
特別損失		
固定資産除却損	1,581	91
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3,535	-
特別損失合計	5,116	91
税金等調整前四半期純利益	116,089	100,519
法人税、住民税及び事業税	65,000	62,000
法人税等調整額	7,189	6,898
法人税等合計	57,810	55,101
少数株主損益調整前四半期純利益	58,278	45,417
四半期純利益	58,278	45,417

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年3月21日 至平成23年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月21日 至平成24年6月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	58,278	45,417
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	8,631	22,027
その他の包括利益合計	8,631	22,027
四半期包括利益	49,647	23,390
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	49,647	23,390
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

該当事項はありません。

【会計方針の変更等】

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【追加情報】

当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年3月21日 至 平成24年6月20日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成24年3月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月20日)
債務保証 持分法非適用関連会社ダブルフラウリングカメラ (株)の代表取締役の金融機関からの借入に対して、連結 子会社(株)ハチパントレーディングジャパンが債務保証 を行っております。 <div style="text-align: right;">保証金額 8,537千円</div>	債務保証 持分法非適用関連会社ダブルフラウリングカメラ (株)の代表取締役の金融機関からの借入に対して、連結 子会社(株)ハチパントレーディングジャパンが債務保証 を行っております。 <div style="text-align: right;">保証金額 7,093千円</div>

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年3月21日 至 平成23年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年3月21日 至 平成24年6月20日)
減価償却費	35,769千円	34,141千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成23年3月21日 至平成23年6月20日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月16日 定時株主総会	普通株式	30,704	2.00	平成23年3月20日	平成23年6月17日	利益剰余金

(2) 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間末
後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成24年3月21日 至平成24年6月20日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月14日 定時株主総会	普通株式	30,697	2.00	平成24年3月20日	平成24年6月15日	利益剰余金

(2) 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間末
後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成23年3月21日 至平成23年6月20日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)3
	外食事業	外販事業	海外事業	合計		
営業収益(注)1 外部顧客への営業 収益	1,376,359	177,448	29,453	1,583,261	-	1,583,261
セグメント間の 内部営業収益又は 振替高	111,410	3,775	15,497	130,684	130,684	-
計	1,487,770	181,224	44,950	1,713,945	130,684	1,583,261
セグメント利益	195,353	6,505	15,012	216,872	95,666	121,205

(注)1. 営業収益は、売上高と営業収入の合計であります。

2. セグメント利益の調整額 95,666千円には、各セグメント間取引消去545千円、各セグメントに
配分していない全社費用 96,211千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメン
トに帰属しない提出会社の経営管理に係る部門の費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成24年3月21日 至平成24年6月20日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)3
	外食事業	外販事業	海外事業	合計		
営業収益(注)1 外部顧客への営業 収益	1,375,044	176,619	46,150	1,597,815	-	1,597,815
セグメント間の 内部営業収益又は 振替高	131,702	3,712	13,725	149,140	149,140	-
計	1,506,747	180,332	59,876	1,746,956	149,140	1,597,815
セグメント利益	187,578	1,051	24,298	212,927	112,316	100,611

(注)1. 営業収益は、売上高と営業収入の合計であります。

2. セグメント利益の調整額 112,316千円には、各セグメント間取引消去613千円、各セグメントに
配分していない全社費用 112,930千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメン
トに帰属しない提出会社の経営管理に係る部門の費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年3月21日 至平成23年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月21日 至平成24年6月20日)
1株当たり四半期純利益金額	3円79銭	3円02銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	58,278	45,417
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	58,278	45,417
普通株式の期中平均株式数(千株)	15,351	14,998

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年7月25日

株式会社ハチバン
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 長坂 隆 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 石田 勝也 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ハチバンの平成24年3月21日から平成25年3月20日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成24年3月21日から平成24年6月20日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年3月21日から平成24年6月20日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ハチバン及び連結子会社の平成24年6月20日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

（注）1．上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2．四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。